

第4章

構想の実現方策

将来像

食と花の都の七つの姿

将来像実現のテーマ

食と花の都

（日本一豊かでにぎわいのある大農業都市）

- 多彩な食と花の都として躍動する都市
- 元気な農業の担い手が地域と共に活躍する都市

- 地域に根ざした資源を次世代に継承し、磨きあげる都市
- 水辺や緑、農地や里山など、豊かな自然が息吹く都市
- 魅力ある田園環境を満喫する都市

- 農業者と消費者が互いに恵みあう都市
- 環境にやさしい農業に取り組む都市

1-1 産業として魅力のある農業の確立

1-2 地域として魅力のある集落環境の形成

1-3 田園型政令市の豊かさとにぎわいの形成

1 強い農業・農村をつくる基本的な施策の展開

「強い農業・農村をつくる基本的な施策」のテーマ及び施策体系は、以下の通りです。施策は、“食と花の都の発信”，“協働の取り組みの推進”，“農業経営の体質強化と地域振興の両輪による展開”を基本的な姿勢として展開します。

基本的な施策の方針

1 安心・安全な食料の供給と収益性の高い農業の確立

本市の農業生産の柱である米をはじめ、各種農畜産物の生産性や付加価値を高め、安心・安全な食料の供給と収益性の高い農業を確立します。

2 集落における営農環境の整備

多様な担い手の就農促進とともに営農組織の活動の活性化により、農業を続けやすい環境を整備します。

1 美しく自然あふれる農村の形成

農村が有する多彩な魅力資源の発掘・保全・改善により農村の魅力を高めます。また、水辺や緑地、農地のネットワーク化やビオトープ整備により、生物生息空間としての農村の質を高めます。

2 暮らしやすい農村コミュニティの形成

農村集落の利便性や安全性など居住環境の向上を図り、暮らしやすい農村コミュニティを形成します。

1 互恵による都市・農村交流の促進

農業者と消費者のつながりの創出・拡大や、農村の多面的効果の発揮により、都市と農村の互恵の関係を築くとともに、食と花の情報発信を進めます。

2 資源循環・環境重視型の地域づくりの推進

環境保全型農業をはじめとした流域全体での環境保全や資源の循環利用により、自然豊かな環境にやさしい地域づくりを進めます。

展開施策

1) 産地間競争に打ち勝つ「売れる米づくり」の推進

2) 生産性の高い農業の推進

3) 買う人がうれしい「食と花」の提供

4) 信頼感を高める安心・安全な食料の供給

1) 多様な担い手の育成・確保

2) 営農組織の活性化

1) 田園に囲まれた新潟らしさを育む地域資源の保全・創出

2) 水鳥が飛び交う水と緑のネットワークの形成

1) 農村地域の居住環境の向上

2) 集落自治活動の充実

1) 農業者と消費者のつながりの創出・拡大

2) 都市・農村交流の推進と多面的効果の発揮

1) 流域全体も含めた環境保全の推進

2) 資源の地域循環システムの構築